

昨年度の成果と課題を明らかにしましょう。

- ① 低・中・高学年部会ごとに成果と課題を協議しましょう。
基礎的・基本的な知識や技能の習得・活用を図る学習指導（協議ベースとなる 23 テーマ）
～チーム力を生かした2つのアプローチ形成による授業づくり～
年度末報告会での資料をもとに、次の3点について協議していきます。
○久原小学校（低・中・高学年）の子どもたちに身についた力は？（成果）※国語・算数で
○久原小学校（低・中・高学年）の子どもたちに必要な力は？（課題）※国語・算数で
○指導者として課題を感じていること ※国語・算数で
- ② 各部部长が全体で協議内容を報告し、成果と課題を共有化しましょう。
個々の成果と課題を全職員で共有化していきます。また、転任者の本校研究への理解も図ります。
- ③ 研究主任が課題の整理をします。
3つの部会の協議内容の共通点を見出し、本年度の方向性を確認します。
- ④ 研究推進委員会での整理と焦点化・重点化を行います。
研究の内容と方法の具体化について、全体会で報告されたことをもとに、各部長と後日確認します。
- ⑤ 全職員へ発信します。
授業づくりが具体的にイメージできるように、提案授業及び協議会、研究通信で発信します。

ハイライト：

・まずは、昨年度の取組について成果と課題の明確化を図ります。

・本年度の方向性について焦点化、重点化を図ります。

・組織づくりを行い、研究の進め方について、具体的な見通しをもちます。

本年度のテーマを共通理解しましょう。

- ① めざす子ども像を具体化し、主テーマを構築しましょう。
子どもの目が輝く学習の創造（協議ベースとなる 23 主テーマ）
昨年度の課題を踏まえて、国語・算数で高めていきたい力は？（成果と課題から、全体での焦点化）
各部会で授業レベルでの子どもの姿に具体化していきます。（成果と課題から、部会での焦点化）
- ② 手だてを具体化し、サブテーマを構築しましょう。
聴き合い・語り合い活動を中心に（協議ベースとなる 23 サブテーマ）
※発達段階に応じた「聴き合い・語り合い」の内容を具体化していきます。
※国語・算数の授業における具体的な手だては、研究の具体的構想で提示します。
各部会で、授業レベルでの手だてに具体化し、個人の授業構想へつなげていきましょう。

効率的な組織ですすめていきます。

- ① 3つの部会で構成します。
低学年部 ○豊原（国）、小山（国）、小林（算）、案浦（算）、松原、半田
中学年部 ○植田（国）、田代（国）、井上（算）、高山、大穂、井上友
高学年部 ○木原（国）、西田（国）、野口（算）、川見（算）、江崎、四元
- ② 研究推進委員会は、各部部长で構成します。
校長・教頭・主幹・研究主任（井上）・豊原・植田・木原・松原



見通しをもって、チームで授業をつくっていきましょう。

① 公開授業は、チームによる協働研究で推進します。

部会単位で、課題に応じた授業づくりをすすめます。

他部会の公開授業協議会の時間に、協議の時間を設定します。

② 授業参観指導を行い、日常的研究推進による授業力向上をめざします。

授業者が、めざす子ども像と手だてを明確にした授業を行います。

通常の近接学年会および他部会の公開授業協議会の時間に、協議の時間を設定します。

③ 実践交流会を開き、学校全体で研究を共有化します。

夏期研修会で、各部から「これまでの実践と今後の方向性」というタイトルで中間報告会を行います。

④ 研究発表会を最終報告会として位置付け、これまでの実践の検証を行います。

発表会のスタイルを「受け身型」から「参加型」に転換していきます。



主題研究		一般研修	
4月	5 研究主題及び研究推進の具体化	4月	
5月	8 研究主題及び内容・方法・計画提案、課題協議 15 授業研修① (全研 中学年 算数 井上)	5月	配慮を要する児童への支援の共通理解 ? 道徳授業指導案作成・審議
6月	5 指導案審議 (部会) 12 授業研修②③ (部研 低:国語 豊原 中:国語 植田) 19 授業研修④⑤ (部研 高:算数 野口 低:算数 小林) ※授業参観指導 (2学期授業者)	6月	生徒指導に関する研修 21 外国語教育に関する研修 (※教育センター) 29 町人権教育実践交流会 (※学習参観)
7月	1 学期授業の課題協議 成績分析による実践の評価と改善①	7月	配慮を要する児童への支援の共通理解—①
8月	中間報告会 (これまでの実践と今後の方向性) 研究発表会授業の指導案作成・審議	8月	
9月	11 授業研修⑥⑦ (部研 低:算数 案浦 高:算数 川見) 25 授業研修⑧⑨ (部研 中:国語 田代 高:国語 西田)	9月	学校評価に関する研修
10月	2 授業研修⑩⑪ (部研 高:国語 木原 低:国語 小山) ※授業参観指導 (1学期授業者)	10月	配慮を要する児童への支援の共通理解—②
11月	8 研究発表会	11月	人権教育推進プランに関する研修
12月	成績分析による実践の評価と改善②	12月	
1月	研究のまとめについて提案・作成	1月	
2月	12 授業研修 (全研 提案授業)	2月	5 授業研修 (全研 特別支援) 配慮を要する児童への支援の共通理解—③
3月	来年度の方向性について協議 成績分析による実践の評価と改善③	3月	

子どもたちに身についた力（昨年度の成果）

子どもたちに必要な力（昨年度の課題）

指導者として課題を感じていること

本年度、国語・算数で高めていきたい力

部会での国語・算数におけるめざすこども像を授業レベルで具体化すると

部会での国語・算数における手だてを授業レベルで具体化すると